ロジックモデル＜がん対策＞

施策【D】 ＜施策・取組の展開＞	初期アウトカム【C】	中間アウトカム【B】 ＜施策の方向性＞	分野アウトカム【A】 ＜目指す姿＞
1．がん予防・がん検診 ①生活習慣改善対策 ②感染症対策 ③検診受診率向上策 ④検診の精度向上策	●県民が予防に努め、その生活習慣が改善している 指標番号 C101～C103 ●精度の高いがん検診を受診できている 指標番号 C104～C113	●がんの罹患を予防できている 指標番号 B101～B110	
2．がん医療 ①拠点病院等の連携推進 ②質の高い病理診断・細胞診断のための体制整備支援 ③がんゲノム医療に関する連携体制整備 ④標準的ながん診療体制の確保 ⑤多職種連携の促進と相談支援体制の整備 ⑥リハビリテーション提供体制整備 ⑦支持療法の提供体制整備 ⑧妊孕性温存療法のための体制整備 ⑨医療介護の連携体制整備 ⑩高齢患者の意思決定支援 ⑪緩和ケアの実施体制確保	●がん診療拠点病院等の連携が取れている ●専門的医療提供のための役割分担及び連携体制ができている ●がんゲノム医療へのアクセシビリティが向上している ●患者やがんの状態・種類に応じて適切な医療が行われている 指標番号 C201～C202 ●多職種による相談支援環境が充実している ●医療スタッフ間での情報連携ができている 指標番号 C203～C204 ●がんリハビリテーションなどの適切な提供ができている ●あらゆる世代に応じたフォローアップ体制ができている 指標番号 C205～C206 ●意思決定の支援（ACP）が行われている ●身近に緩和ケアを受けられる施設がある 指標番号 C207～C208 ●医薬品、医療機器及び医療技術の開発がされている 指標番号 C209	●患者が適時に質の高いがん診療を受けることができる ●患者・家族のQOLが向上している ●患者が治療を選択するための情報が充実している 指標番号 B201～B204	●がんの罹患と死亡が減少している ●がん患者が自分らしい日常生活を送れている 指標番号 A1～A4
3．がんとの共生 ①患者等への相談支援 ②情報提供 ③療養者へのがん医療や緩和ケア支援 ④仕事と治療の両立支援 ⑤アピアランスケア支援 ⑥自殺対策 ⑦偏見等への対策 ⑧小児・AYA世代患者支援 ⑨高齢患者支援	●患者・家族が相談できる体制ができている ●患者・家族に適切な情報提供がされている ●意思決定の支援（ACP）が行われている 指標番号 C301～C304 ●がんに対する社会的理解が深まり、支援体制が構築されている ●仕事と治療の両立支援の制度が利用しやすい状態になっている ●仕事と治療の両立がしやすい職場環境ができている 指標番号 C305～C308 ●適切な教育支援を受けられる ●教育と治療の両立ができる環境ができている 指標番号 C309	●患者・家族の苦痛が軽減している ●患者・家族の療養生活の質が向上している 指標番号 B301～B302	